

平成30年度「長期優良住宅化リフォーム推進事業」説明会を開催します！

既存住宅ストックの質の向上及び子育てしやすい環境整備等を図るため、性能向上を図るリフォームや三世帯同居等の複数世帯の同居への対応に資するリフォームを行う優良な取組に対し、「**長期優良住宅化リフォーム推進事業**」により、事業の実施に要する費用の一部について支援しています。

説明会では、概要や支援を受けるための手続きなどについて国土交通省担当官等より説明します。

(1) 主な対象者: リフォーム事業者、工務店、買取再販事業者、建築士、インスペクター等の住宅の性能向上リフォームに携わる事業者等

(2) 開催日時・場所: 全国主要都市9箇所

(3) 説明時間: 3時間程度

(4) 参加方法: 事前に参加の申込みが必要です。

以下のホームページ、FAX又は電話により受け付けます。

<説明会申込み先・問い合わせ先>

<https://krs.bz/koushuu-setsumeikai/m/30apr-chouki>

開催地	開催日	時間	施設名
広島市	4月19日(木)	13:30~16:30	広島国際会議場
大阪市	4月25日(水)	13:30~16:30	コングレコンベンションセンター
高松市	5月10日(木)	13:30~16:30	レクザムホール

情報提供: 国土交通省

耐力面材の告示改正 PB、MDF が使いやすい

国土交通省は3月26日、耐力面材の告示を改正、施行した。今回の告示改正では、既存の構造用合板、構造用パネル(OSB)などの仕様の拡充に加えて、**構造用パーティクルボード(PB)、構造用MDFの仕様などが新たに追加された。(従来は個別に大臣認定)**



近年、筋交いの代わりとして構造用合板などの耐力面材の利用が拡大している。フラット35適合住宅では、筋交いが約6割、耐力面材が約4割であったが、2016年4月に発生した熊本地震後、耐力面材の普及がさらに加速していると言われている。**今回の告示改正により、耐力面材の種類や、より高耐力な耐力壁の仕様が増えたことで、耐力面材の普及拡大に拍車がかかりそうだ。**

今回の告示改正では、軸組工法で、耐力面材の厚みや釘打ちの間隔などの組み合わせにより、既存の2.5倍よりも高耐力な仕様が大幅に拡充された。構造用合板と構造用パネルについては、3.7倍の仕様(大壁)などが新たに追加された。構造用PB、構造用MDFについては、それぞれ厚さ9mmで2.5倍、4.3倍の仕様(大壁)などが追加された。

また、**軸組工法で、「床勝ち仕様」にも、告示で示す耐力面材を採用できることを明確化した。**

情報提供: 創樹社

YKKAP、窓の外で日射を8割超カットする「洋風すだれ」発売



YKK APは4月2日、洋風すだれ「アウターシェード」をリニューアルして発売する。生地や施工方法を見直し、日射遮性、機能性、利便性、施工性を高めた。

アウターシェードは、夏場の日射や西日を窓の外でブロックして室内の温度上昇を抑え、エアコンの電気使用量を低減できるとして人気の商品。今回、緯糸(よこいと)は4色、経糸(たていと)は黒色のみで織る特許出願中のオリジナルシェード生地を採用することで、**日射遮蔽性能を従来品より約1割向上し、8割以上の日射をカットできるようになった。複層**

ガラス窓と組み合わせ設置した場合、4色いずれでも約86%以上日射をカットするという。

参考価格3万6300円(壁付け納まり半外付型、本体のみ、1820x2300)。

情報提供: 新建ハウジング